

2025 年

11 月号

106 号

念慶寺だより

固定電話は住職の携帯
電話に転送されます

〒529-0341 長浜市湖北町速水 921 番地【0749-78-0312】

新年正月元旦 午前8時30より 修正会・新年互礼会



親鸞聖人御正忌報恩講（御満座）

長浜第21組 同朋の会推進講座【推進員】
参加者募集 申し込み締切 1月10日

御礼言上

一年の締めくくりとして念慶寺の報恩講が勤まりました。また来年の報恩講を目指していきます。

報恩講は親鸞聖人の御明日として勤める法要です。今年の講師である藤川秀行さんは、その人のことを思い起こす日であると話されていました。

作家の命日は、その人となりか思い起こされる言葉が用いられます。芥川龍之介は河童忌、司馬遼太郎は菜の花忌、中島らもはせんべろ忌。藤川さんのおばあさんは、戦中・戦後の食べ物のない時代を生きた経験から、何かあった時にはいつもトンカツを用意されたことから「とんかつ忌」と呼び、命日には家族でとんかつを食べる日だと言っておられました。

法話では、親鸞聖人を思い起こして、その生涯を、迷い（生死）から出ていく道を求めた人であったことをお話しされました。その迷いの原因は、自分自身が何を願っているのか分かっていないこと。阿弥陀仏の姿の左手の姿は「与願印」であることなどを教えていただきました。

迷いを乗り越えようとするのではなく、何に迷っているのか。その迷いそのものを知ることにより、迷いに振り回されることのない人生を実現するのだと受け止めました。

今月の仏花



今年の報恩講の仏花です。報恩講らしく若松を真にして、見越には極楽鳥花（ストレリチア）を差しています。

極楽鳥花の由来は、ニューギニアやオーストラリアなどに生息する極楽鳥の羽根にそっくりなことだそうです。

また、前置には南天を用いました。水に付けずに工作したものですので、そう長くは持ちそうにありません。報恩講の3日間のための立花です。



報恩講おみがき【10/26】

例年、報恩講前のお磨きは雪囲いと同時にやることから総出でお願いしておりましたが、雪囲いは高所作業で危ないと懸念されておりました。

今年は雪囲いはせずに（状況によって外縁にビニールシートを敷きます）お磨きのみにしました。そのため総出ではなく、南町・西町・高田の方をお願いしました。おかげさまで仏具がピカピカになり、また内陣の報恩講荘厳、外幕も張っていただき、万全に整えていただきました。ありがとうございました。



長浜別院大通寺報恩講【10/24】

長浜市には長浜別院と五村別院があります。私たちが所属する長浜21組も数年に1回、どちらかの報恩講に出仕することが回ってきます。今年は長浜別院の報恩講に出仕しました。今年からだそうですが、内陣はすべてイス席になっており、新たな作法で出仕しました。



参加者募集 同朋の会推進講座【3/7-6/28】

長浜21組では、5期目となる同朋の会推進講座が開かれます。虎姫の五村別院を会場に5回、最後は本山の同朋会館に宿泊して、最終日には「推進員」の任命式が行われます。

講師は大垣の不破英明さん。とても優秀な方です。連続講座の中で真宗の教えを知ることができると思います。最終の同朋会館へは若干の補助もあります。各寺最低でも1名は受講してほしいと呼びかけられています。

この機会にぜひご参加ください。詳しくは別紙ご案内をご参照ください。

念慶寺ホームページ

念慶寺

検索

念慶寺のフェイスブックページ、速水馨のインスタ・ブログもあります。

住職携帯 090-8536-8533

メール kkhayami02@gmail.com



HPのQRコード